

午前八時集合時刻、奥岳では霧雨状態。□□さん作成の踏み板も来た。荷物を分けて持ち、写真撮影の後

出発。雨は強くなったり、霧雨に戻つたり、一日止むことは無かつた。勢至平分岐から、笠山下登山道に入



風雨の中、峰の辻の 笠山側に「規制ロープ」設置作業中



出発時集合、雨の中です



下山後撮影、カメラはへろへろ(恐らく熱中症)



安達高校山岳部女子は、今年も全国高校総体(インター大会)の山岳競技に参加することになった。当会は二〇一三、二〇一四、二〇一七年の三回、激励金を贈呈していた。今年もインター杯に県代表として参加するという事とし、学校に申し入れたところ十日午後一時か



七月七日(日) 笠山下登山道整備一回目

報告
編集部



発行所
二本松市木ノ坂
あだたら山の会
編集部

●編集部連絡先
二本松市内1-5-5
0243(22)4245
渡辺正

る。登山道の水溜まりに、青木さん作成の踏み板を置いた。今日は目的地が峰の辻なので、いつも昼食を摂る場所も通過して、ひたすら登る。「ハンノキ林」を抜ける当たりから風が強くなる。峰の辻は完全に風雨の中。峰の辻の道標から少し東に離して、ロープ止めを立て、三千メートル程ロープを張り、以前からある道案内ロープと繋いだ。同様のロープをくろがね小屋方面ルートにも同

様の処理を実施した。風雨の中だったが、さすがに七月で、身体の表面は冷たくなったが、体幹まで冷えることはなく、風のないところまで下山すると楽になつた。木立の中では「ハクサンシャクナゲ」、峰の辻あたりでは「オノエラン」



ポール設置



踏板設置

七月十日(木) 安達高校山岳部に激励金贈呈

報告
編集部

くなつてくる、それは判るので、みんなから遅れ、迷惑を掛けてしまう。雨具着用時は水分・塩分を欠かさないようにして、十分注意しましょう。



行つた。当日は□□会長と□□事務局が学校を訪れ、山岳部長に激励の言葉と激励金を贈呈した。山岳部長から御礼の言葉と頑張つてくる旨の表明があった。今年のインター杯は八月二日(金)から宮崎県高千穂町の祖母山系(祖母山は宮崎県の最高峰)で行われる。



オノエラン



閉会式終了後、居合わせた 役員勢揃い（あだたら体育館）

報告編集部
北總体



総合3位の 福島県選手団(あだたら体育館)

今年で四十六回目の東北総合体育大会「スポーツクライミング競技」が、岳温泉スカイピアの「スカイピアアだたらアクティブパーク（S A A P）」のクライミングウォールで開催された。アクティビティ内には、クライミングの設備として、ボルダリングセッション（幅八・六九m、高さ四m）、リードセッションが設けられている（福島中央新報記事から）。

当会からは会員六名が参 加、計時・アイソレーション管理などの役員を勤められた。一日目は「ボルダリング」、最低の装備（シューズとチョークだけの装備）で登る。二日目は「リード」、確保ザイルを付けて十倍を越えるクライミングウォール



ボルダリング競技



計時、ボルダリング競技にて

ルの上まで登る。成績は、総合一位若手県、福島県は総合三位だった。(今の東北総体には中学生も参加する、中学校体育連盟が参加している、今回初めて知りました)。



リード競技観客席



当会からの役員 5 名、他の 1 名は作業中

六月二日 (日)

伯耆大山 山開き



伯耆大山、googlemapから

報告

□□□□□

保満の弓ヶ浜弧線が美しい。この先から傾斜がきつくなる。とつせん視界が開けると八合目。この先が木道。足下には低いキャラボクが広がっている。遙の物の無い棟線上を日本海から風を体全体で受けとめ歩く。木道は山頂まで続き、山頂ではテラス状になっている。山頂避難小屋の前の石置き場に、持参した石を置く。八時。思ったより早い到着。しかし霧のため眺望叶はず。宿坊でこしらえて貰つたおにぎりを食べ下山開始。八時半。もと来た夏山登山道を下り始める。五合目手前の分岐で、行者と、上つて来る人達が、切れ目無く続くようになる。

山開きは例年六月の最初の日曜日。前後にはこれも例年通り、たいまつ行列がある。二百数本の松明がある。山開きは奥宮から下つて山行。大山は大山寺を背負っているようにな

る。山開きは例年六月の最初の日曜日。前後にはこれも例年通り、たいまつ行列がある。山開きは奥宮から下つて山行。大山は大山寺を背負っているようにな

キリマンジャロ山 登頂の思い

報告 □□□□

五十二分登山開始となつた。徒歩は四時間の予定。先頭はボーターのリーダーで、三十分歩き十分位休んで、砂礫帯をゆっくり進みマンダラハット（標高二七二七メートル）に着く。一部のボーラー先に行き昼食の準備をした。

福島から自家用車で成田

に向かう。砂礫帯のロ

ード、アルートを高山病に気

を受けながらゆっくりとキ

ボ峰直下のキボハット（四

七〇・三メートル）へ。八時

十五分、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

夜、トタンに雨の音がし

たら、朝二時頃起きたが、空

は星が輝き雲はなかった。

星に手が届くように美しかった。ヒマラヤに行った時

と同じで、地上からの灯り

が無いからだ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十一日、よいよいヨギ

リマンジャロ山に向う日

だ。時計は合わせていない

が、六時頃目を覚ました。

日本なら犬やカラスの鳴き声が聞こえるが、ここでは

リマンジャロ山に向う日だ。時計は合わせていない

が、六時頃目を覚ました。

女性の方が多く私よりも年

配の方が一人おり、その他

の客が集まっていた。係か

らツアーリーダーを見ると、

みだった。朝食を済ませて

集合場所に行くと、登山姿

した。ヒマラヤに行くとき

は星が輝き雲はなかった。

星に手が届くように美しかった。ヒマラヤに行った時

と同じで、地上からの灯り

が無いからだ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十三日快晴 六時三

七時三十分朝食、八時三十

分出発した。今日は六時間

の行程。高い樹木はなく荒

れ果てた荒野が広がった。

もこの場所だったので、ど

んな人たちが行くのが樂

しみだつた。朝食を済ませて

集合場所に行くと、登山姿

した。ヒマラヤに行くとき

は星が輝き雲はなかった。

星に手が届くように美しかった。ヒマラヤに行った時

と同じで、地上からの灯り

が無いからだ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十四日快晴 六時三

七時三十分朝食、八時三十

分出発した。今日は六時間

の行程。高い樹木はなく荒

れ果てた荒野が広がった。

もこの場所だったので、ど

んな人たちが行くのが樂

しみだつた。朝食を済ませて

集合場所に行くと、登山姿

した。ヒマラヤに行くとき

は星が輝き雲はなかった。

星に手が届くように美しかった。ヒマラヤに行った時

と同じで、地上からの灯り

が無いからだ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十五日、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十六日、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十七日、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十八日、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月十九日、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月二十日、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月廿一日、前日まで体調不良

の方もいたが、今日は全員

が元気だ。

だ。座席は窓側だったので

外の景色は良く見えた。雪

の覆われた山々の上から見

ると、アルプスのマッタ

ー山並が広がっていた。エジプト

の上空からは砂漠が広が

り、あちらこちらに緑の丸

い物が見られた。多分砂漠

に水を引き農地が出来てい

るよう見えた。

二月廿二日、前日まで体調不良

七月十五日

日本で二番目に高い、
〔富士山〕〔西会津町〕

告辭



201

一月十五日 快晴 寝た
と思いきや、起床の声がした。十二時だった。空を見ると北の方角には北斗七星が輝いていた。酸素飽和度七十六%、脈拍数百五、忙しく準備しウォーミングアップをして出発に備えた。その時注意事項があった。ギルマンズポイント（五六八二メートル）まで元気に登れた人だけ、ウルフピーク（五六九五メートル）まで登れることになった。ギルマンズポイントからウルフピークまでは約二時間半で往復できる。ボーターの責任者が登山者の様子を見て決定する、との事だ。何しろ酸素が薄く、普通に歩いても辛い登りだ。

An aerial photograph of Mount Asama, a stratovolcano in Japan. The mountain has a prominent, dark, conical crater rim at its peak. The slopes are covered with a mix of brown and green vegetation. In the foreground, there's a large, dark, shadowed area, likely a forested valley or a lava field. The background shows distant hills under a clear blue sky.

ヤ回（続き）

真っ暗なので、ヘットランプを頼りにゆっくりスタートした。三十分歩き十分休みのペースで、私は常にアンカーだった。男子の年齢では、私より二歳年下と三歳年下の二人、女性は私よりも二、三年上が一人おり、全員が六十歳以上だった。

昨日私が登ったハンス・メイヤーズ・ケープに来た時、体力によるパートナーの編成があった。私と、青森から参加した□□さんがアタック隊に選ばれた。実は私もうキツクは思ったが、当然煙しかった。

登頂隊は先に登り出した。前日の雨が雪になり、地面上には雪が積もついていた。アタック隊はボーダー一人と私たち二人だが、ボーダーは日本語が話せないので、休みみたいときは「ティータイム、ティータイム」と合図した。ボーダーは慣れているのでどんどん先に行く、斜面はそんなにキツくないが体を前に進めるのが大変で二回ほど休んだ。日の出は六時三十分だっ

キリマンジャロ山、googlemapから

五十歩歩き、次は七十歩歩いて膝に手を当て呼吸を整えてから歩いた。国内の山では体験のできない程で、ウルフピークに向った。六時三十九分ギルマンズポイントで記念写真を取り、ウルフピークに向った。そこまで来て頂上にはやっとたどり着いた。私は思わず「万歳」と繰り返した。頂上では記念写真を撮り、やと周りの風景にシャッターを切った。火口、その周辺に広がる氷河を夢中で写真を撮った。氷河の美しさも印象的で、山頂から続いた氷河も現在はかなり後退したとの事だ。遠くに見える氷河も何段かの筋があり、白いビルディングの様で、とても感激した。山頂は寒く手が凍るほどでマイナス三度くらいと聞いた。鼻水を拭いたタオルが力チカチに凍り、自然の厳しさを感じた。登頂しての達成感は何とも言えなかった。帰りは登りに比べれば楽だが、少し登りにさしかかると苦しくなり、深呼吸をしながら何とかギルマンズポイントに着いた。ポーターのリーダーが途中まで迎えに来てくれた。感激でしつかり抱き合った。その後は一直線に下山した。登りの五分の一くらいの速さで滑り駆けた。

碑を滑るのをやめてジグザグ歩いた。しかし、私は砂漠を下山したばかりで、皆に祝福された。私もキリマンジャロを振り返り、「やっと登頂したのだ」と実感した。ポーターの話だが、ギルマンズポイントからウルフピークまで一時間五十分、帰りは五十分で戻った。

出来たら八十歳で、またキリマンジャロにチャレンジしてみたくなった。

帰りはホロンボハットまで下山し、ホロンボハットに泊まった。

▼一月十六日 快晴、ホロンボハットからは来た道を下り、マラング・ゲートまで約五時間で歩いた。専用車でアルーシャに着きホテルに泊まつた。しかし、治安が良くないので外には出なかつた。

▼一月十七日 快晴、アルーシャ国立公園に行き、野生の動物を見物した。帰りには原住民の住宅を見学した。早めの夕食、キリマンジャロ国際空港に向かう。

▼一月十八～十九日 曇り。アムステルダム空港は朝七時には着き、午後三時成田空港に向つた。